

法人名：

大館能代空港ターミナルビル 株式会社

設立年月日 平成7年11月16日

1 法人の概要

代表者職氏名	代表取締役社長 津谷 永光	資本金	495,000千円	県出資等額及び比率	148,500千円	(30.0%)	所管部課名	観光文化スポーツ部交通政策課					
設立目的	空港ターミナルビルは公共交通（航空機の運航・航空旅客支援）を担う施設であり、高い公共性を求められることから、秋田県をはじめ周辺自治体、航空会社及び流通、地元経済界の出資する株式会社として設立された。												
事業概要	運航支援施設としてのターミナルビル運営。同施設・設備の賃貸。施設内広告宣伝。道の駅の運営。												
関連法令、県計画	空港法、秋田県総合交通ビジョン												
役員数 (R7.7.1現在)	理事		監査役		評議員		計		職員数 (R7.4.1現在)	正職員	出向職員	臨時・嘱託	計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤		4	1(1)	6	11(1)
	2	5		2			2	7		役員と職員を兼ねている者の人数は、役員と職員の両方に計上し、職員数には括弧（内数）で表示。			

2 法人の行動計画(令和4～7年度)

県関与のあり方	継続	経営状況	安定	取組の方向性	・安定的経営の継続 ・公益的事業の安定実施
目標	安定的経営の継続に向け、経営改善の取組を維持し、営業収入の増収を図る。 【目標】営業収入（千円） R4年度：223,423、R5年度：240,917、R6年度：241,817、R7年度：242,717 公益的事業の安定実施に努め、顧客満足度の維持・向上を図る。 【目標】顧客満足度（pt） R4年度：80.5、R5年度：81.0、R6年度：81.5、R7年度：81.5				
取組	航空旅客数と航空貨物量の動向が賃料や販売額に大きく影響することから、航空路線の維持・拡充に資する航空旅客誘引と需要創出を推進するため、大館能代空港利用促進協議会の加盟法人として、県と連携した諸施策を実行するとともに、変動リスクの軽減と更なる収入増のため、付帯事業において以下の取組を実施する。 ・通販サイトへの出品等によるEC活用、ダイレクトセールスによる企画商品の販路拡大 【目標】販売点数 年800個 ・販売物品の単価適正化、訴求力ある商品展開 ・イベントの刷新と地元住民の空港立寄り利用の促進（直営店舗増収、テナント店舗支援による賃料確保） 【目標】販売店舗来客数（テナント含む） R4年度：52,800人、R5～7年度：各年度72,600人 CS向上活動（施設設備・サービス改善、マインド醸成）の継続と更なる強化を図る。				

3 財務

損益計算書		(単位:千円)	
区 分	令和5年度	令和6年度	
売上高	246,399	250,580	
売上原価	17,285	17,616	
売上総利益	229,114	232,964	
販売費及び一般管理費	202,613	198,019	
人件費(売上原価含む)	45,317	47,605	
営業利益(損失)	26,501	34,945	
営業外収益	203	219	
営業外費用	1	63	
経常利益(損失)	26,703	35,101	
特別利益	28,131		
特別損失	28,000	73	
法人税・住民税・事業税	8,919	11,043	
当期純利益(損失)	17,915	23,985	

貸借対照表		(単位:千円)	
区 分	令和5年度	令和6年度	
流動資産	357,833	376,031	
固定資産	633,712	620,830	
資産計	991,545	996,861	
流動負債	67,064	47,086	
短期借入金			
固定負債	18,725	20,034	
長期借入金			
負債計	85,789	67,120	
資本金	456,000	456,000	
利益剰余金等	449,756	473,741	
純資産計	905,756	929,741	
負債・純資産計	991,545	996,861	

< 主な経営指標 >			
項 目	令和5年度	令和6年度	増減
経常収支比率 (経常収益÷経常費用)	112.1%	116.3%	+ 4.1
流動比率 (流動資産÷流動負債)	533.6%	798.6%	+ 265.0
自己資本比率 (純資産計÷負債・純資産計)	91.3%	93.3%	+ 1.9
有利子負債比率 (有利子負債÷純資産計)			

端数処理の関係で増減が一致しないことがある。

< 退職給与引当状況 (単位:千円) >		
要支給額	引当額	引当率(%)
13,792	13,792	100.0%

県の財政的関与の状況（事業費補助・委託を除く） (単位:千円)			
区 分	令和5年度	令和6年度	支出目的等
年間支出			
年度末残高			

法人名：

大館能代空港ターミナルビル 株式会社

自己評価

1 行動計画における目標及び取組の達成状況			2 経営状況				
【令和6年度実績】 営業収入：250,580千円（前年度：246,399千円、目標：241,817千円） 顧客満足度：81.8pt（前年度：85.5pt、目標：81.5pt） 商品販売点数：8,150個（前年度：9,150個、目標：800個） 販売店舗来客数（物販テナント含む、レストラン除く）：65,242人（前年度：60,449人、目標：72,600人）			【令和6年度実績】 売上高：250,580千円（前年度：246,399千円） 当期純利益：23,985千円（前年度：17,915千円）				
【自己評価】		評価	A	【自己評価】		評価	A
テナントを含めて空港ビル全体でサービス品質の向上や誘客、販売促進の取組を強化したことにより、営業収入、顧客満足度及び商品販売点数に係る目標値については達成することができた。 販売店舗来客数については前年度比では約8%増加したものの、各店舗における人員不足による営業時間の短縮等が影響し、目標数には届かなかった。今後は、誘客促進の取組とともに、当社ウェブサイトの活用等、各店舗の求人情報の発信強化に向けた取組も行うことで、来客数の増加を図りたい。				東京羽田線三往復化の定着に向けた空港利用促進協議会等による継続的な需要喚起策の効果もあり、空港利用者数が増加（19.4万人と前年比で2.1万人増）したことにより、不動産事業収入や販売事業収入も堅調に推移し、総売上高は前年度比で約1.7%増の250,580千円となり、当期純利益も前年を上回った。 経常ベースで単年度黒字を確保していることに加え、県からの財政的支援を受けておらず、累積債務もないことから、引き続きA評価とした。			

所管課評価

1 行動計画における目標及び取組の達成状況			2 経営状況		
【所管課評価】 行動計画に掲げた目標は概ね達成されている。販売店舗来客数については、目標未達となったものの、前年度を大きく上回っており、今後も空港の賑わいづくりを進めるなど目標達成に向けて取り組んでいただきたい。			評価	A	【所管課評価】 令和6年度は増収・増益であり、県から運営面に関する財政的支援は行っていない。累積債務もなく経営は安定している。引き続き利益剰余金の積み増しに向けて取り組んでいただきたい。

委員会評価

総合評価	法人全体の取組・運営状況に関するコメント
A	行動計画に定める目標については概ね達成されているほか、前年度からの増収増益を達成しており、安定的な経営を行っているものと評価できる。

【委員からの提言】
販売店舗来客数については、商品開発も含めた工夫改善を図るなど、取組を進めてもらいたい。 顧客満足度や商品販売点数は、目標達成のみならず前年度よりも向上させることを目指してもらいたい。 県北地域への誘客促進の観点においても、大館能代空港の果たす役割は大きいと考えることから、施設の利便性を高めることや空港としての知名度を高めることなど、積極的な取組を期待したい。

委員会評価を踏まえた対応方針

法人の対応方針	所管課の対応方針
地域資源を活用した商品の開発や改良等に取り組み、販売店舗来客数の増加を図る。 顧客満足度・商品販売点数の更なる向上・増加を目指し、一層のサービス品質向上とともに、各店舗の従業員確保に向けた情報発信の強化等に努める。 県北地域の知名度向上、誘客促進については、SNSに加え、ウェブサイトのリニューアルにより、観光情報や主要都市へのアクセスを重点的に発信し、注目度の向上につなげていく。また、これまで以上に空港利用促進協議会や空港圏域市町村、北東北三県他空港と連携し需要の掘り起こしに取り組んでいく。	空港の知名度向上と誘客促進のため、大館能代空港利用促進協議会を核として空港圏域市町村や地元経済団体との連携を推進していくことで、法人の活動を支援していく。